

第18回 関西障害学生支援担当者懇談会

2月16日開催分 アンケート集計結果

アンケート回答者: 56名

1-1 所属大学

大学コンソーシアム京都加盟大学

大学名	人数
大谷大学	1
京都学園大学	3
京都光華女子大学／ 京都光華女子大学短期大学部	1
京都産業大学	3
京都女子大学	2
京都精華大学	2
京都造形芸術大学	2
京都大学	1
京都府立大学	2
同志社大学	3
花園大学	2
福知山公立大学	1
佛教大学	1
立命館大学	1
龍谷大学	2
合計	27

大学コンソーシアム京都非加盟大学

大学名	人数
大阪市立大学	1
大阪芸術大学	1
大阪府立大学	1
大手前大学	2
関西医療大学	1
関西学院大学	1
畿央大学	1
甲南大学	1
神戸学院大学	1
神戸松蔭女子学院大学	1
神戸大学	1
帝塚山大学	1
天理大学	1
常磐会学園大学	1
長浜バイオ大学	2
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部	1
羽衣国際大学	1
姫路獨協大学	2
湊川短期大学	2
桃山学院大学	1
和歌山大学	2
和歌山信愛女子短期大学	1
合計	27

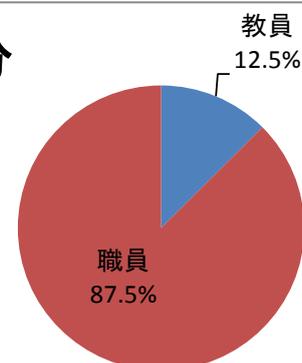
無記名

無記名	2
-----	---

1-2 区分

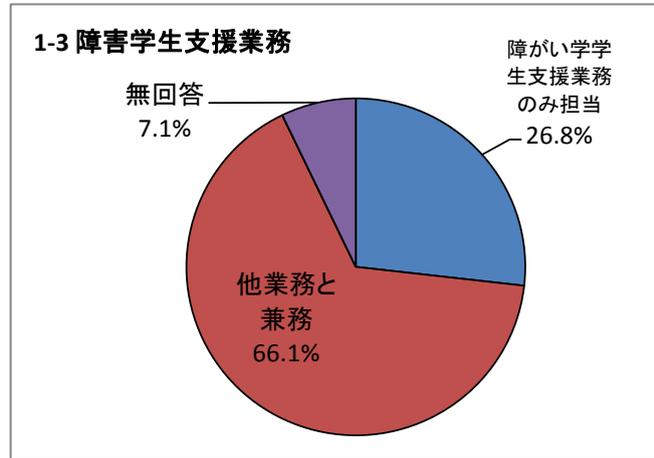
	選択肢	人数	%
1	教員	7	12.5
2	職員	49	87.5
3	その他	0	0.0
4	無回答	0	0.0
	合計	56	100.0

1-2 区分



1-3 障害学生支援業務

	選択肢	人数	%
1	障害学生支援業務のみ担当	15	26.8
2	他業務と兼務	37	66.1
3	その他	0	0.0
4	無回答	4	7.1
	合計	56	100.0



2. 今回の講座をどこで（何で）知りましたか？（複数回答可）

	選択肢	人数
1	ホームページ	2
2	コンソーシアムメーリングリスト	10
3	KSSKメーリングリスト	27
4	知り合いからの紹介	9
5	その他	6

「1 ホームページ」のサイト名
・コンソーシアム京都

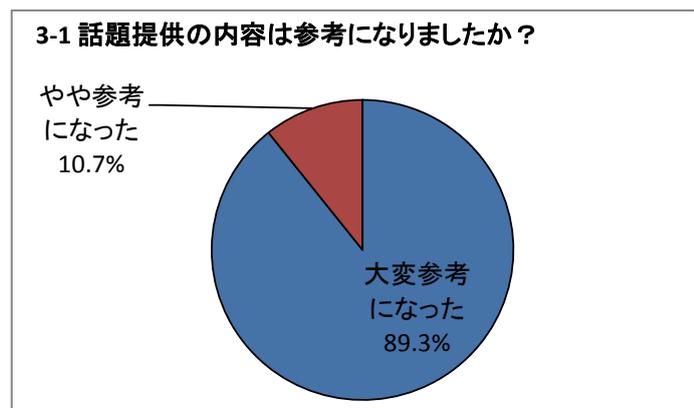
「5 その他」の記述内容

- ・上席からの声かけ
- ・本学教員
- ・他職員から研修案内をもらった
- ・担当課からの連絡
- ・日本リメディアル教育学会
- ・本学教員からの紹介

3. 話題提供について

3-1 話題提供の内容は参考になりましたか？

	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	50	89.3
2	やや参考になった	6	10.7
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
6	無回答	0	0.0
	合計	56	100.0



3-2 (1) の回答を選択された理由をご記入ください。（記述内容一部抜粋）

NO	内容
1	第二次まとめでのポイントや第一次まとめをふまえて、今後の大学での支援を検討するヒントがいただけたため
2	症例を学べるから対策を考えていけそう
3	現在の動向と今後直近の動向を把握することができ、とても参考になりました。活かしていきたいと思います。
4	某市で在学中の就労移行支援事業所利用にあたり、(最初は不可にしようという意図で)行政担当課長から2時間の電話ヒアリングを受けました。そのとき、二次まとめの議事録から反証、反論+全国的な流れを説明できました。学内での支援履歴+本人のレディネス+事業所の力量を踏まえて利用決定に至りました。やはり、これからの支援を考える上で大変参考になります。
5	現場の実際をご存知の中で、制度等に触れて頂き、非常に話が聞きやすかったです。合理的配慮をむずかしく考えすぎず、教育の機会的等がユニバーサルデザインの考えに立ちかえる事ができました。ありがとうございました。
6	合理的配慮の提供において判断に迷った場合の基準を知ることができて良かった。
7	法令理解、合理的配慮etcの理解など
8	高等教育機関における障害学生支援について確認できた。
9	いつも対応について悩むときがあります。少人数で他大学の話が聞けてよかったです。大変参考になりました。
10	支援体制が現在の大学ではない状態なのですが、その中で支援体制を設ける迄の流れや、設けた後のイメージ等をもつことができたからです。
11	他大学との規模が違いすぎて参考になり良かったが、マネが出来ないように感じた。

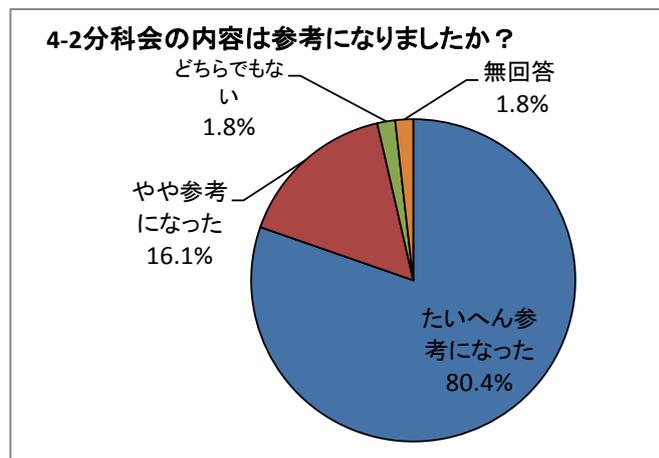
4. 分科会について

4-1 どの分科会に参加されましたか？

	選択肢	人数	%
1	A『支援体制－①入門編』	14	25.0
2	A『支援体制－②応用編』	11	19.6
3	B『発達障害・精神障害のある学生の支援（キャリア、外部連携）』	15	26.8
4	C『支援体制（法律、合理的配慮）』	16	28.6
	合計	56	100.0

4-2 分科会の内容は参考になりましたか？

	選択肢	人数	%
1	大変参考になった	45	80.4
2	やや参考になった	9	16.1
3	どちらでもない	1	1.8
4	あまり参考にならなかった	0	0.0
5	まったく参考にならなかった	0	0.0
6	無回答	1	1.8
	合計	56	100.0



4-3 (2) の回答を選択された理由をご記入ください。

◆ A『支援体制－①入門編』（記述内容一部抜粋）

NO	回答内容	記述
1	大変参考になった	自大学と同規模程度の大学が多く、同じ悩みを持っていることがわかった。悩みを共有できたことや今後情報共有できそうになつなかりができたことが嬉しかった。
2	大変参考になった	ノートテイクの対象を考える必要が分かった。
3	大変参考になった	他大学も同じ悩みがあることを理解、共感できて良かった。
4	大変参考になった	体制作りを急いでいたが、現在ではなく数年後を見て行動すれば良いと言われ安心した。
5	やや参考になった	支援体制入門編だったので、今度は応用編に出て具体的な参考ケースを聞きたいと思ったから。
6	やや参考になった	文科省の話など文字だけではなかなか読むにいたらない。むずかしい話をさっくりと聞いて本当に良かったです。
7	やや参考になった	名刺交換の場というか、自由意見（討論）の時間が少しほしかった。課題にそってのみ話し合っって終わった印象があった。
8	やや参考になった	いろんな規模の大学があり、実態が違いすぎるところと共通するところがあった。

◆ A『支援体制－②応用編』（記述内容一部抜粋）

NO	回答内容	記述
1	大変参考になった	他大学での対応事例やその考え方を聞くことができ、自分の大学での支援にもつなげていけるのではないかと思えた。また、悩みも抱えているのは自分だけではないと知ることができたのも心強かった。他大学の方と相談できる機会ができて非常に貴重な時間でした。
2	大変参考になった	大学ごとに抱えている問題は違ってもどこか共通していて活発な意見を伺うことができ、大変参考になりました。
3	大変参考になった	公平性、妥当性については、いつも課題と感じていたので、それを考える場があって良かった。
4	大変参考になった	支援体制がきちんとされている大学が多いため本学とは違う面もあり、今後の学内の体制づくりを意見する上で参考にしていきたいと思います。
5	大変参考になった	他大学の実態を知ること、自大学の体制や現状を客観的に振り返ることができた。
6	大変参考になった	普段あまり意識していない目線（妥当な支援かどうかetc）で、支援について改めて考えることができたため
7	大変参考になった	ガイドライン作成、学生対応の課題共有、ノートテイク、・・・経験を共有できたこと。
8	大変参考になった	授業支援の方法として整備していくことが重要と感じました。

◆B 『発達障害・精神障害のある学生の支援（キャリア、外部連携）』（記述内容一部抜粋）

NO	回答内容	記述
1	大変参考になった	他大学でもにかよった問題の学生がおり、日々ご苦労されていると思いました。参考に来るところも多々あり情報もいただけたので、大変勉強になりました。同じ志の者がいると思うと元気が出ます。
2	大変参考になった	他大学の事例をたくさん教えていただけて良かったです。今後の支援の参考にさせていただきます。現場で活躍されている支援者の皆さまとのネットワーク作りにもなりました。
3	大変参考になった	具体的な、他大学の様子、状況を知ることができ、体制を整える上で刺激になりました。参考になる点も多く、対応の可能性が広がりました。
4	大変参考になった	保健室（健康アンケートの活用）と学生との関係性／面談から見えてくる情報があること。学長を体制（しくみ）+捺印（アクション）で巻き込む方法、合理的配慮に関わるカウンセラーの「集団守秘義務」など、各大学の実践知にあふれる分科会でした。
5	大変参考になった	どの大学も悩みが同じであることが、よく分かり、気持ちの共感ができて良かったです。支援の基本は、連携だと再認識した中で、学内・学外・家庭等、連携する際の難しさを感じています。具体的な方法はまだ見つかっていませんが、今日お会いできた皆様と情報交換をしながら日々取り組んでいきたいと思ひます。
6	大変参考になった	各大学での支援の現状やトピックについて知ることができ、さらにそれらに関わる考え方（どう支援するのか、どこまで支援するのか）が今後の参考になりそうです。
7	大変参考になった	様々な部署の方が参加しており、又他大学の体制等を聞くことができ、とても参考になりました。話題がつきない楽しい時間になりました。

◆C 『支援体制（法律、合理的配慮）』（記述内容一部抜粋）

NO	回答内容	記述
1	大変参考になった	これから支援をすすめていくうえでのこうしたところが良かった等、聞くことができ又、本学からお聞きした支援の対象とその線引きについて様々な大学の状況を教えていただいて助かりました。
2	大変参考になった	他大学の皆さまのお話を聞くことができ、大変勉強になるとともに自身の大学の未熟さを改めて実感しました。
3	大変参考になった	各大学でも支援体制で、それぞれ苦慮されていると感じた。
4	大変参考になった	学内規程や対応要領を今後作成していくにあたって、色々な情報を得ることができた。小規模大学で席をまとめてくださったことはよかったです。
5	大変参考になった	事前に質問点を確認いただけて、他の研修等の分科会より大変有意義なものになりました。困っていたサポートも解決できる気がしてきました。これからも参加させていただきます。（大学の財政状況、規模でそう考えても難しいと感じる部分もありました。）
6	大変参考になった	常に参加していきたい研修会です。状況が日々動く中で、他大学の皆さまの具体的な事例が力になります。
7	やや参考になった	大学規模により事例、課題について様々なものがあることが理解した。
8	やや参考になった	各大学での体制について理解ができた。

5. 懇談会全体について

5-1 時間配分

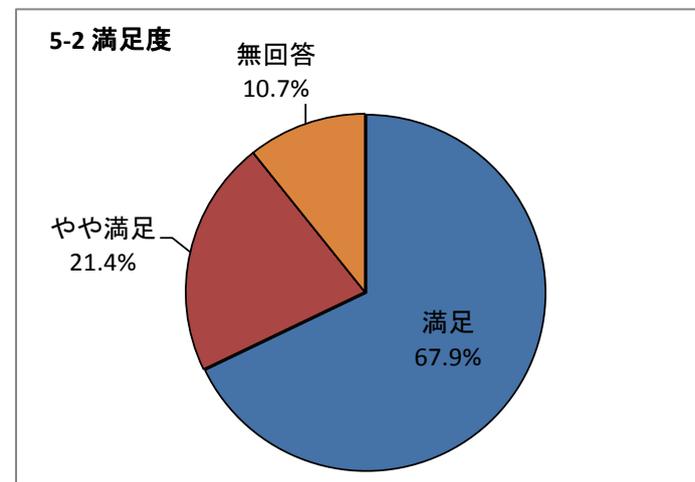
	選択肢	人数	%
1	長い	0	0.0
2	短い	3	5.4
3	ちょうど良い	48	85.7
4	無回答	5	8.9
	合計	56	100.0

「3 ちょうど良い」の記述内容

- ・ きもちは短いのですが、大学から出やすい時間設定をして頂きました！
- ・ 分科会は短いと感じるくらい濃いものであった

5-2 満足度

	選択肢	人数	%
1	満足	38	67.9
2	やや満足	12	21.4
3	どちらでもない	0	0.0
4	やや不満	0	0.0
5	不満	0	0.0
6	無回答	6	10.7
	合計	56	100.0



5-3 (2) の回答を選択された理由をご記入ください。

◆「満足」と回答した人の自由記述(一部抜粋)

NO	内容
1	他大学の方とコミュニケーションをとれたこと、村田先生の講演が相変わらずパーフェクトだったこと。
2	話題が多いためある程度まとまった時間を取っていただいている現在の時間配分が話しやすいと感じる
3	具体的に現在感じているジレンマや課題について話すことができ、とても良かったと思います。ぜひ、継続に同じ場を設定いただいてその後どうだったか新しい課題が発生していればそれを共有していきたいと思う。
4	中身がつまった充実した内容だと思います。あっという間に終わってしまった感覚はありますが、これ以上長くても遠方から来る方が大変だったり盛りだくさんすぎて混乱するかもしれないのでちょうど良く満足です。
5	分科会での意見交換で、今すぐにでも使える学生対応の意見を頂き、迷いが解消された。
6	ご縁がもてて、心強く思いました。
7	とても充実していて満足です。しかし、分科会をいくつか参加したいと思っていたので、もう少し時間やプログラムが多くても良いかと思いました。
8	研修会へ参加してもなかなか他大学の方々と関わる機会がないため貴重な体験となりました。
9	分科会で議論する時間がしっかりとられてよかったと思います。
10	疑問点のいくつかを解消できた。新たな情報を得ることができた。
11	経験値を高めるため、課題を共有して、ブラッシュアップできる契機となりました。
12	午前中仕事をして昼食を取る時間もなく参加しているので、ちょうどお腹がすきました(すみません)。。。でも動向とか知らないことが多く大変勉強になりました。持ちかえて、ゆっくり読みたいと思います。
13	午前、午後開催にて、話題提供部分の時間をもう少し多くしてほしい。(地方から京都まで来ているもので。。。)そうすると満足度ももっとあがると思う。
14	分科会人数が増えると困り事など課題が多くなり、具体例の論点があつかみにくくなることもあり、もう少し時間がほしいと感じました。

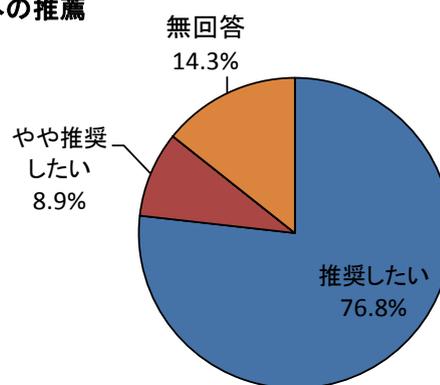
◆「やや満足」と回答した人の自由記述(一部抜粋)

NO	内容
1	他大学の担当者と情報交換できたから
2	皆での討論があれば良いかも。。。。
3	大学の規模に合わせたグループディスカッション。
4	キャリア支援について、もう少し詳しく伺いたかったです。

5-4 他者への推奨

	選択肢	人数	%
1	推奨したい	43	76.8
2	やや推奨したい	5	8.9
3	どちらでもない	0	0.0
4	あまり推奨したくない	0	0.0
5	推奨できない	0	0.0
	無回答	8	14.3
	合計	56	100.0

5-4 他者への推薦



6. 今後、懇談会で取り上げてほしいテーマ、内容等があればご記入ください。(記述内容一部抜粋)

NO	内容
1	ノートテイク・ノートテイクの養成(聴覚障がい学生への対応)
2	TA(実験補助者)、ノートテイクなどの支援学生の養成について
3	不服申し立てがあったケースについて
4	キャリア支援。個人情報のとりあつかいについて
5	参加できていない分科会も気になります。同じ内容、テーマでも複数回実施していただけると勉強になります。
6	知的障害を伴う学生(with ASD)への支援もこれからテーマになってくるかと存じます。
7	支援機器について(情報etc)事例検討(短く、いくつも)
8	教育(修学支援)を前提として考える合理的配慮(障害学生支援)FD、SD
9	発達障害学生への具体的配慮について
10	支援室の立ち上げ、支援体制づくり等、まだまだ体制づくりが整っていない状況何からどう進めていくかということについて様々なやり方があるかと思っておりますので、他大学の情報を知りたいです。
11	障がい学生に対するキャリアトレーニング。保護者との連携・学部支援機関との連携(うまくいっているケースだけでなく苦労しているケースも)
12	留学生のこと
13	精神的な訴えに対する対応についてももう少しお聞きできれば助かります。TAもないので。。
14	発達障害の学生に対して、その成長を促すためにどのような方法があるかなど、知りたいです。
15	学校規模別の障害者支援
16	貧困学生に対してのサポート
17	配慮の学生をその成長によって、配慮が不要になったときの判定タイミング
18	大学の理事者向け、管理職向けのテーマがあればいい。→文科省、日本学生支援機構の動き、財政面のことなど。
19	JASSOの話を知りたい。あるいは自治体の福祉担当の方との懇談。
20	合理的配慮の事例やシステム、学内規定や対応要領の設定の仕方について、小規模大学のバージョンのひな形がわかればありがたい。
21	ほぼ全入状態・定員割れが起こっている大学のこれからの支援について(発達障害学生が爆発的に増えているため。)小規模大学(~2000人)の支援のあり方について

7. 懇談会の改善点があればご記入ください。(記述内容一部抜粋)

NO	内容
1	今回、分科会8名での討論?話し合い?意見交換だったが更に少人数でも良いなとおもった。
2	分科会の資料を事前に頂いていなかったことが当日になって分かり不安を感じたので、連絡方法等、改善していただければ幸いです。

8. その他、懇談会へのご意見・要望等があればご記入ください。(記述内容一部抜粋)

NO	内容
1	今回、障がい支援については入門編に参加しましたが、次回は是非中級に参加したいです。分科会るとき司会・書記担当大学の方に大変ご負担をかけました。ありがとうございました。
2	皆さま各大学で学生や教職員のことを考えて、日々お忙しくされていて、お話をお伺いして、明日からまたがんばろうと気合が入りました。ありがとうございました。
3	午前から開始していただき、分科会を2つ参加できるといいなと思います。
4	実務を担う者としてこのような交流の場があること、とても有難く感謝しています!
5	大変勉強になりました。1人でも多くの教職員に参加してもらいたいです。ありがとうございました。
6	本日は、貴重な機会をありがとうございました。今日感じたことを明日からの業務に活かしていきたいです。
7	規模や体制の違いが大きく戸惑ってしまったので、同じような大学がもう少し集まれば良いかなと個人的に思いました。今後のネットワークとして相談できればと思います。ありがとうございました。
8	分科会をもう少し範囲をしばらく開催してほしい。(例)キャリア支援関係者のみの分科会とか
9	いつもお世話になり、ありがとうございます。ご準備や運営をありがとうございます。今回も実り多い話し合いや初めてお会いできる方々との交流とても学ばされました。
10	今回初めて参加させていただきましたが、他大学さんの取りくみに見習いたいことが多くありました。お話を聞くことができ、こういう場を作ってください感謝しております。ありがとうございました。
11	今後も継続的な開催をよろしくお願いいたします。
12	キャンパスプラザは場所がよいので今後も会場として使用していただけるとありがたい。
13	ネームプレート等も準備されており、丁寧な懇談会だと感じました。本学の他の職員にも、次回の参加をすすめます。分科会の時間が前々回より長く取られている点もよかったです。
14	課題、取りあげたい事例について、分科会参加者の声をまとめる司会・記録の方は大変むずかしいと思いました。